



# 南浦和中だより



第 8 号

平成30年 11 月 30 日(金)

さいたま市立南浦和中学校

さいたま市南区辻 6-1-33

Tel 048-863-0753

さわやか相談室 直通

Tel 048-837-5909

《学校教育目標》日に新た 心豊かに たくましく



## 「挨拶」

校長 益子 慶次

早いもので、今年も最後の月となります。木々が美しい葉を落とし、いよいよ寒さが厳しくなる季節となってきました。

毎朝校門で声をかけるようになって1年半が過ぎました。その間に生徒とともに挨拶運動を行ったり、毎学期PTAの役員さんと一緒に挨拶運動も行ってきました。登校してくる生徒の様子も実に様々です。生き生きとしたいい顔、朝の寝起きの顔、不機嫌な顔。家庭で何かあったのかなと思うような雰囲気や登校してくる生徒。大会の時のあの生き生きした顔とは違い、どうしたのかなと思わせる生徒。680人もいるとまさに十人十色、百人百様です。生徒のみなさんに話している行動目標の一つに「さわやかな挨拶」があります。朝一番、さわやかにスタートしたいものです。

以前に、挨拶に関してこんなメールの投稿を目にしました。

「うちの会社の就職活動の受付を担当した際、会場には約150名の大学生が来た。入口で挨拶をしながら、どれくらいの学生が挨拶をしていくか観察してみた。無視して通り過ぎる人が5割、何となく頭を下げていく人が2割、挨拶を返してくれる人が2.5割、向こうから挨拶をしてくれる人が0.5割だった。挨拶を返してくれた人、向こうから挨拶をしてくれた人を見ると、挨拶をしない5割の人と比べて、眼が生き生きしているように感じた。そして、挨拶をしなかった人のその後の行動を観察してみると、会場を出たり入ったりして落ち着きがなかったり、書いている字が殴り書きだったり、基本的なことができていない傾向が見られた。やはり挨拶は、その人の人柄とか性格を表す、わかりやすい指標だと思った。挨拶って、会話とか仕事よりもずっと前に存在する人間としての基本的なことだと思う。別にさわやかな顔をして『おはよう!』なんて言わなくても、会釈するだけでいいと思う。そうすれば、お互い気持ちも違うはずだ。ビジネスでは、挨拶ができないのは大きな問題になってしまう。僕にとっては、自ら進んで挨拶というのがとても気持ちいい。それは、相手に対する敬意や感謝の気持ちの表れだったりする。挨拶を返されることも気持ちいいし、返すのも気持ちいい。いずれにしても、意気込みだりせず、フッと自然に出てくるのがとても気持ちいい。だから、挨拶ができない人のことが、とても不思議に思える。」ということでした。



この投稿を見て、南浦和中の朝の登校状況を思い浮かべながら考えてしまいました。

「たかが挨拶、されど挨拶」です。校門では先ほどの会社の割合とは全く違うとは感じますが、申し訳程度の目礼で通り過ぎる生徒はまだしも、無反応で通り過ぎる生徒もほんの一握りですがいることも確かです。どうしたんだろうと心配してしまいます。気持ちのいい挨拶の交換ができる人は、目標をしっかりと見据えている人、きちんとルールを守れる人、心に余裕のある人、家庭での躰がしっかりしている人、自分自身に自信をもって生活している人なのかなあと勝手に想像してしまいます。

今年も保護者、地域の皆様のご支援、ご協力本当にありがとうございました。冬休みも子どもたちを見守っていただき、来年も更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。生徒のみなさんには、新年の目標をしっかりと立て、新しい年の良いスタートを切れることを願っています。